# 広島県の地震

2023(令和5)年7月

目　次

広島県及びその周辺の地震活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

震央分布図・断面図と地震概況

広島県における震度１以上の地震・・・・・・・・・・・・・・・２

震度一覧表と震度分布図

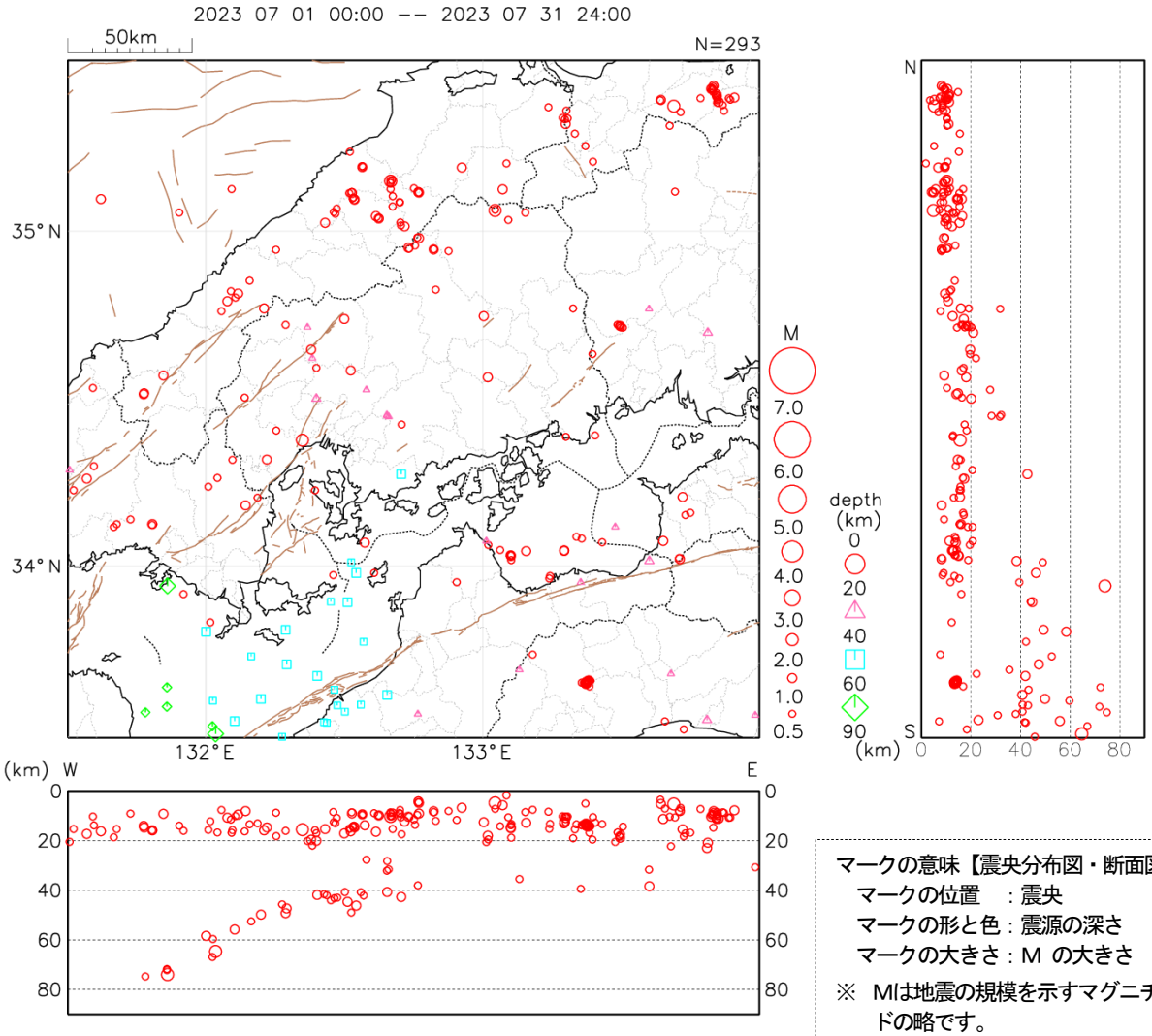
地震メモ　第 226 回・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

関東大震災から１００年、鳥取地震から８０年

広島地方気象台

# 広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】　　2023 年 7 月 1 日～7 月 31 日




**左上：震央分布図　右上：南北断面図　左下：東西断面図**

※　震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※　図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。

※　図の右上の”N”は図の範囲内における地震の回数です。

マークの意味【震央分布図・断面図】
　マークの位置　：震央
　マークの形と色：震源の深さ
　マークの大きさ：M の大きさ

※　Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例（depth）【震央分布図】
- ○ は深さ 0～20 km未満
- △ は深さ 20～40 km未満
- □ は深さ 40～60 km未満
- ◇ は深さ 60～90 km未満

【地震概況】

この期間、広島県内で震度１以上を観測した地震は２回でした（先月も２回）。

22 日 21 時 14 分 日向灘の地震（深さ 37km、M5.0、図の範囲外）により、高知県宿毛市、大分県佐伯市で震度４を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度３～１を観測しました。広島県内では、三原市・尾道市・福山市・呉市・大竹市・東広島市・江田島市・竹原市・府中町・大崎上島町で震度１を観測しました。

26 日 21 時 37 分 隠岐島近海の地震（深さ 37km、M4.5 図の範囲外）により、島根県海士町・隠岐の島町で震度２を観測したほか、山口県を除く中国地方４県で震度１を観測しました。広島県内では、庄原市で震度１を観測しました。

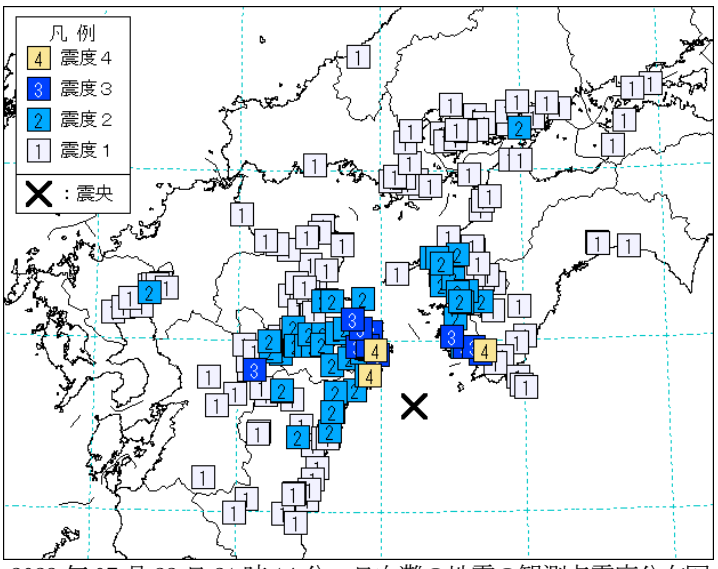
# 広島県における震度１以上の地震

【震度一覧表】

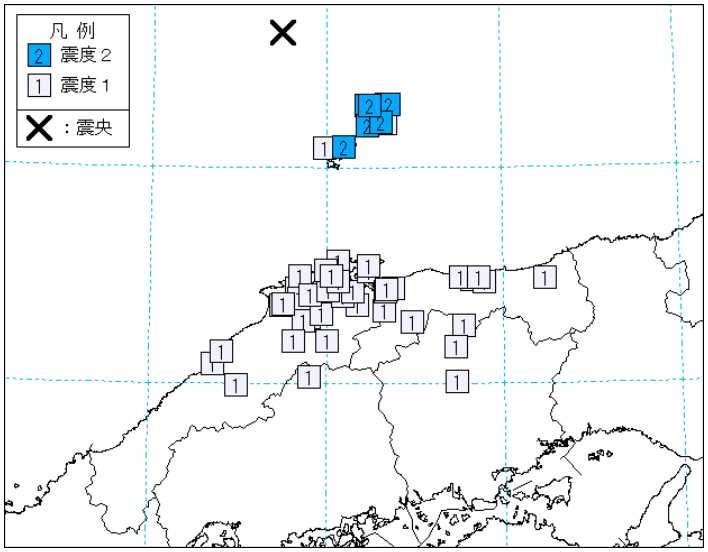
| 発震時刻（年月日時分）<br>広島県内の各地の震度 | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | M<br>ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2023年07月22日21時14分 | 日向灘 | 32° 36.9’ N | 132° 13.6’ E | 37km | M5.0 |
| ―――――― 地点震度 ―――――― | | | | | |
| 広島県　震度 1 ： | 三原市本郷南＊, 尾道市向島町＊, 尾道市瀬戸田町＊, 福山市内海町＊, 呉市宝町<br>呉市広＊, 呉市川尻町＊, 呉市音戸町＊, 呉市安浦町＊, 大竹市小方＊, 東広島市黒瀬町<br>府中町大通り＊, 江田島市大柿町＊, 江田島市能美町＊, 竹原市中央＊<br>大崎上島町東野＊ | | | | |
| 2023年07月26日21時37分 | 隠岐島近海 | 36° 37.6’ N | 132° 44.7’ E | 37km | M4.5 |
| ―――――― 地点震度 ―――――― | | | | | |
| 広島県　震度 1 ： | 庄原市高野町＊ | | | | |

注）震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】




2023 年 07 月 22 日 21 時 14 分　日向灘の地震の観測点震度分布図




2023 年 07 月 26 日 21 時 37 分　隠岐島近海の地震の観測点震度分布図

# 地震メモ　関東大震災から100年、鳥取地震から80年　第 226 回

2023 年は、甚大な被害が発生した「関東大震災」から、100 年の節目になります。

この地震（大正関東地震）は、1923 年（大正 12 年）9 月 1 日 11 時 58 分に発生しました。地震の規模を表すマグニチュード（M）は 7.9 でした。

この地震により、関東地方では震度6を観測しました。当時の震度階級は震度0から震度6までの7階級でしたが、家屋の倒壊状況などから相模湾沿岸地域や房総半島南端では、現在の震度7相当の揺れであったと推定されています。

地震は昼食の時間と重なった事から、火事が多発し被害が拡大しました。津波、土砂災害なども発生し、この地震による災害は「関東大震災」と呼ばれています。

◆ 気象庁ホームページに「関東大震災から 100 年」特設サイトがあります
https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html

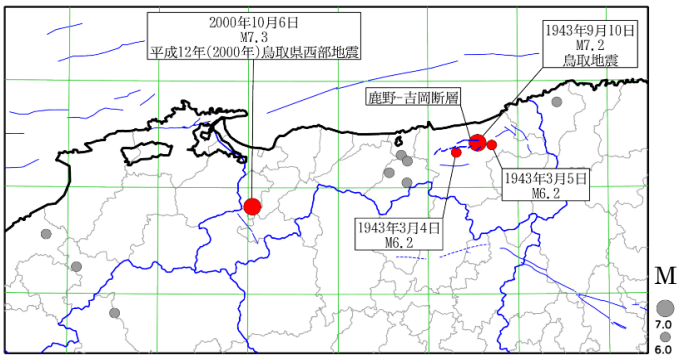
◆ 内閣府ホームページにも特設サイトがあります。あわせてご覧ください

## 2023 年は鳥取地震から 80 年！（1943 年 9 月 10 日 M7.2）

鳥取地震は、鳥取市付近を震源域として発生しました。この地震は、鹿野－吉岡断層の活動に伴い発生し、鳥取市で震度6を観測しました。被害は軟弱な地盤が広がる鳥取平野に集中し、死者 1,083 人、負傷者 3,259 人、家屋全壊 7,485 棟などの被害が生じました。（被害等は、日本被害地震総覧 599-2012 より）

本震後の数日間は、体に感じる余震が 1 日に 100 回以上発生しています。また、この地震に遡ること半年前の 3 月 4 日、5 日に鳥取地震とほぼ同じ場所で、それぞれ M6.2 の地震が発生しています。どれも陸域の浅い場所で発生した地震で、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」や「平成 12 年（2000 年）鳥取県西部地震」も同じタイプの地震です。

地震は、いつ発生するかわかりません。過去を知って備えましょう。




震央分布図　1919 年～2022 年
図中の細線は、地震本部による活断層

◆ 鳥取地方気象台では過去の災害を振り返り地震への備えを改めて確認していただきますよう、鳥取地震の特集ページを公開しています。
https://www.data.jma.go.jp/tottori/disaster/1943tottori_jishin/index.html

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先
〒730 - 0012
広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室　　TEL：082 - 223 - 3965